

(表3-3) 要介護度

	年齢	男				女				全体
		30~	40~	50~	60~	30~	40~	50~	60~	
ダウン症の人	要支援	7 46.7	19 38.8	19 43.2	1 11.1	8 42.1	12 44.4	9 32.1	—	76 37.8
	要介護1	2 13.3	15 30.6	7 15.9	—	1 5.3	9 33.3	5 17.9	2 25.0	41 20.4
	要介護2	2 13.3	6 16.3	10 22.7	1 11.1	6 31.6	4 14.8	3 10.7	2 25.0	36 17.9
	要介護3	1 6.7	5 10.2	2 4.5	—	2 10.5	2 7.4	1 3.6	3 37.5	17 8.5
	要介護4	2 13.3	2 4.1	4 9.1	5 55.6	21 5.3	—	6 21.4	—	20 10.0
	要介護5	1 6.7	—	2 4.5	2 22.2	1 5.3	—	4 14.3	1 12.5	11 5.5
	計	15	49	44	9	19	27	28	8	201
ダウン症以外の人	要支援	21 65.6	19 33.3	33 53.2	38 53.5	7 30.4	18 33.3	23 43.4	29 49.2	192 45.9
	要介護1	4 12.5	11 19.3	15 24.2	15 21.1	6 26.1	5 9.3	14 26.4	13 22.0	85 20.3
	要介護2	4 12.5	10 17.5	6 9.7	4 5.6	6 26.1	17 31.5	9 17.0	8 13.6	64 15.3
	要介護3	1 3.1	8 14.0	2 3.2	5 7.0	2 8.7	5 9.3	3 5.7	5 8.5	32 7.7
	要介護4	1 3.1	6 10.5	5 8.1	5 7.0	2 8.7	5 9.3	4 7.5	3 5.1	31 7.4
	要介護5	1 3.1	3 5.3	1.6 1.6	4 5.6	—	4 7.4	—	1 1.7	14 3.3
	計	32	57	62	71	23	54	53	59	418

中高齡知的障害者専門調査（個人別調査）

[厚生科学研究今村班分担研究調査]

調査日	平成14年4月1日現在
調査対象者	30歳以上の知的障害者
調査対象施設	知的障害者更生（入所）施設
調査対象地域	首都圏

都県名

施設名

記入者名

職名

中高齡知的障害者専門調査（個人別調査）－平成14年4月1日現在－

* 空欄は記入し、該当する番号を○印で囲んでください。

1. 調査対象者の基本属性

①ケースイニシャル ②性別 1. 男 2. 女

③生年月日 1. 大正 2. 昭和 年 月 日 ④年齢 歳

⑤知的障害の原因

01. 感染症又は中毒症に起因するもの（例：先天性風疹、妊娠中毒症、その他）
02. 外傷または物理的要因によるもの（例：出生時の機械的損傷による脳症、出生後損傷による脳症、その他）
03. 代謝または栄養障害を伴うもの（例：フェニールケトン尿症、クレチン症、栄養障害、その他）
04. 出生後に起こる粗大脳疾患によるもの（例：結節性硬化症、頭蓋内新生物、その他）
05. 不明の出生前要因によって起こる疾患に伴うもの（例：原発性小頭症、水頭症、マルファン症、その他）
06. 染色体異常を伴うもの→

61. ダウン症候群
62. その他の染色体異常（猫なき症候群、クラインフェルター症候群、その他）
08. 周生期疾患によるもの（例：未熟児）
09. その他
99. 不明

⑥知的障害の程度

1. 中・軽度（IQ36以上） 2. 重度・最重度（IQ35以下） 3. 測定不能 4. 不明

⑦身長 cm ⑧体重 kg

2. 疾患および異常

①痴呆診断 1. あり 2. なし 3. 不明

→SQ. 服薬している薬等（複数回答可）

1. 抗けいれん薬 2. 抗精神病薬 3. 抗不安薬
4. 抗うつ薬 5. 眠剤(緩和剤精神安定剤を含む) 6. 抗痴呆薬
7. 脳循環代謝改善薬 8. ビタミン剤 9. その他

②神経学的異常 1. あり 2. なし 3. 不明

* 「1. あり」の場合は次の (1) ~ (6) に回答してください。

(1)言語障害 1. あり 2. なし 3. 不明

- ↳ [SQ1. 構音障害 1. あり 2. なし 3. 不明
SQ2. 他の言語障害 1. あり 2. なし 3. 不明

(2)嚥下障害 1. あり 2. なし 3. 不明

(3)歩行障害 1. あり 2. なし 3. 不明

(4)麻痺 1. あり 2. なし 3. 不明

↳ SQ. 麻痺の内容 (複数回答可)

1. 単麻痺 (部位) 2. 左片麻痺 3. 右片麻痺
4. 両麻痺 5. 対麻痺 6. 四肢・体幹麻痺

(5)不随意運動 1. あり 2. なし 3. 不明

- ↳ [SQ1. 部分 (複数回答可)
1. 顔面・口唇 2. 右上肢 3. 左上肢
4. 右下肢 5. 左下肢 6. 両上肢 7. 両下肢
8. 右上下肢 9. 左上下肢
SQ2. 内容 (複数回答可)
1. チック 2. 振戦 3. アテトーゼ様運動
4. その他 ()

(6)てんかん性痙攣発作 1. あり 2. なし 3. 不明

- ↳ [SQ1. 頻度
1. 週に1回 2. 月に1回 3. 半年に1回
4. 年に1回 5. それ以下
SQ2. タイプ (複数回答可)
1. 全般発作 2. 部分発作 3. 精神運動発作
4. その他の発作
SQ3. 服薬の有無 1. あり 2. なし 3. 不明
SQ4. 初発年齢 歳

③この一年にかかった疾患

疾患名	疾患名
1.	4.
2.	5.
3.	6.

3. 毎日の生活

①毎日の行動範囲

1. 施設敷地外（あるいは家庭生活での生活圏外）への外出もみられるなど、行動は活発であり、危なげはない。
2. 普通に行動はしているが、その範囲は生活寮の周辺、あるいは家庭では、日常の散歩等が行われている生活空間に限られている。
3. 行動はほとんど生活寮（あるいは家庭）の中である。
4. 動きは少なく、居室中心である。
5. ほとんど寝たきり、移動は介助のもとで行われる。
6. 寝たきりである。
9. わからない。

②毎日の健康

1. 元気でこの1年病気らしい病気はない。
2. ときに風邪をひく程度。
3. やや病弱で、風邪や季節の変わりめの神経痛などで、時折医師にかかっている。
4. 定期的に診断を受け、服薬をしている。
5. 寝たきり、起きたりで、介助を受けている。
6. ほとんど寝たきりである。

4. 要介護度（下表「介護度の指標」を参照ください。）

1. 要支援 2. 要介護1 3. 要介護 4. 要介護3 5. 要介護4 6. 要介護5

表 「介護度の指標」

要介護度・区分の概要	日常生活(ADL, IADL)の状況
(要支援) 要介護状態とは認められないが、社会的支援を要する	日常生活を送る能力は基本的にあるが、入浴、金銭管理・服薬などの一部の介助が必要
(要介護1) 生活の一部について部分的介助を要する	歩行・立位（以下動作という）に不安定さが見られることが多く、排泄や入浴、着脱衣、口腔の清潔・洗顔等（以下整容という）、金銭管理・服薬に一部の介助が必要
(要介護2) 中等度の介護を要する	動作に不能・不充分が多く、排泄や入浴、着脱衣、整容、金銭管理・服薬で一部または殆どの介助が必要
(要介護3) 重度の介護を要する	動作は一人ではできない。排泄、入浴、着脱衣、整容、金銭管理・服薬などに殆どまたは全ての介助が必要。理解・認知等の精神機能の一部に低下がみられる
(要介護4) 最重度の介護を要する	動作、排泄や入浴、着脱衣などに全ての介助、食事をとる際に一部の介助が必要。金銭管理・服薬等の手段的ADLには殆どあるいは全ての介助が必要である。精神機能に低下がみられ、時に異常行動もみられる
(要介護5) 過酷な介護を要する	生活全般にわたって全面的な介助が必要。物忘れ・無関心・認知・活動の低下がみられ、昼夜のとり違い・徘徊・暴行等の異常行動がみられる

注、①認知とは、施設の日課での理解力等を指す。

②異常行動とは、老化に起因する精神機能障害（痴呆）を指し、例えば、昼夜のとり違い・暴行・介護への抵抗・徘徊・異食等を指す。

※本表は「各要介護状態区分の状態像の例（平成10年度）」を参考に作成した。

5. 痴呆の状態 (MOSESによる評価)

各項目について、この一週間の日中の行動を最もよく表しているものを選んで○を付けてください。()内には具体例が挙げられています。

1. 着衣

一週間のほとんどの日において、

0. 介助なしに自分で着始め、着ることができた。
1. 着られたが、介助が必要であった。
2. 介助者に全て着せてもらった。

2. 入浴 (風呂とシャワーを含む)

0. 指示されずに自分自身で準備をして、入浴を完了した。

1. 部分的にはできたが、介助が必要であった。(例えば、浴槽、シャワー室に入ったり出たりするときや、洗ったり拭いたりするとき部位によっては必要)。
2. 完全に介助者に入れてもらった (寝たまま入る風呂も含む)。

3. 整容 (髪の手入れ、爪切り、歯みがき、髭剃りなどを含む。着衣や入浴は含まない)

この一週間、

0. 監視の必要なく整容できた。
1. 手助けが必要。
2. 介助者が全部おこなった

4. 失禁 (尿も大便も)

一週間のうち、どのくらいの頻度で失禁したか。

0. 全く無い。
1. 時々。
2. しばしば (一日に一回以上)。

5. トイレの使用

一週間のうちトイレを使ったほとんどのとき、

0. 自分でトイレに行き、指示されることなく自分でトイレを使用した。

1. 部分的に手助けが必要であった。
2. 介助者に全ておこなってもらった (トイレへの移乗、トイレからの移乗をしてもらわないといけない場合や尿瓶、便瓶の使用、カテーテル、人工肛門が入っている場合もこれに含まれる)。

6. 移動

一週間のほとんどの日、建物の中を動き回るとき、

0. 手助けなしに歩いた。
1. 歩行具（杖、ウォーカー）を使用したり、介助者の助けで移動した。
2. 寝たきりあるいは椅子に座ったまま。（椅子に座ったままというのは日中はベッドから椅子に移っても全く移動をしない状態をいう）。

7. ベッドの乗り降り

一週間のほとんどの日、建物の中を動き回るとき、

0. 身体的な助けを必要とせずにベッド乗り降りをした。
1. 道具を使ってベッドの乗り降りをした（例えば、踏み台やスライディングボードのみ使用）。あるいは介助者の身体的な助けを必要とした。
2. 一日中ベッドにいた。

8. 行動の制限（例えば、ベッドの柵、やわらかい紐、抑制用の椅子など）

一週間の日中、どのくらいの頻度で行動の制限を行ったか。

0. 全く無し。
1. 時々。
2. しばしば（日中のほとんどの時間という日が週3日以上）。

9. コミュニケーションの理解（言葉、文字、身振りなどの理解）

一週で、コミュニケーションをしたとき、

0. 明確に理解した。
1. 短いことだけ理解した（短文や身振りなど）。
2. 全く理解しなかった。

10. 発話（本人の話す能力）

一週間のうち、話したほとんどのとき、その話しは

0. 首尾一貫していて論理的だった。
1. 時々論理的で首尾一貫していた。
2. ほとんど意味をなさない（例、めちゃくちゃ、無意味なフレーズ、無意味な音声）
- x. この質問はあてはまらない。話さなかった。

11. 屋内の場所の認識 (例, 自分の部屋, お手洗い, ダイニングルームを見つけることができるか)

一週間のうち日中どのくらいの頻度で自分が住んでいる屋内で場所を間違えたか (混乱したか) .

- 0. 全く無し
- 1. 時々
- 2. しばしば(一日に数回という日が三日以上).
- x. この質問は当てはまらない. その人は介助者や家族の助けなしには動かない.

12. 家族 (職員) の認識

一週間のうちほとんどの日,

- 0. 名前や役割で家族や職員を識別した. (例, 兄, 母, 補助者, 看護婦など)
- 1. 訪問客と家族又は職員の区別はつくが, 名前や役割はわからない. .
- 2. 他の人と家族又は職員の区別はつかない.

13. 場所 (居住地) の認識

一週間のうち,

- 0. 自分がどこで暮らしているのかきちんと分かっていた (住所や都市名, 町名)
- 1. 時々混乱していた.
- 2. どのような所で暮らしているのかについて, いつも混乱 (例, 他の所で暮らしていると思ってしまう).
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

14. 時間の認識

一週の大部分の日に, (a)年 (一年の誤差は可) , (b) 季節, (c) 適切な時刻 (例, 朝であるか昼食後であるか夕食後であるか) がわかっているかどうか.

- 0. 3つともわかっていた. (年, 季節, 時刻)
- 1. 上記三つのうち2つがわかった
- 2. 3つとも全て混乱していた.
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

15. 最近の出来事の記憶 (一週以内のレクリエーション, 食事, 訪問者, のような日々の出来事)

一週において,

- 0. ほとんどの最近の出来事を明確に思い出せた.
- 1. 最近の出来事のいくつかあるいはほとんどを思い出せた.
- 2. 出来事の数分後にはそのことを忘れてしまっているようであった.
- x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.

16. 重要な過去の出来事の記憶 (例, 生年月日, 自分がしていた仕事, 家族や親友の名前, その人たちが生きているか亡くなったか)
一週において,
- 0. 過去の出来事の多くを正しく容易に思い出せる.
 - 1. 部分的には正しく思い出せる. .
 - 2. これまでの人生のほとんどの出来事について混乱している.
 - x. この情報は得られない. 適切にコミュニケーションがとれない.
17. 悲しそうで憂うつにみえる (例, 涙を浮かべる, 暗い, 不幸そう, 悲しそうに見える. 但し, 退屈, 無関心, 心配, 不安そうに見えるのは含まない)
一週においてどのくらいの頻度で悲しそう, 憂うつそうにみえたか.
- 0. 全く無い. .
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上)
 - x. 評価不能. その人は顔の表情を暗くみせる顔面麻痺や身体的問題があるため (例, 脳卒中, パーキンソン病)
18. 悲しい, 憂うつであるとの訴え (悲しいとか, 憂鬱だとか, 他の所へ行きたいと言う. 但し, 介助に対する不平は含まない. 不安であると言うことは含まない.)
一週においてどのくらいの頻度で悲しみや憂うつの感じを表現した (あるいは伝えた) か.
- 0. 全く無い. .
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上. 又, 死にたいとほのめかした場合も含む)
 - x. この質問はあてはまらない. 話さなかった(又は伝えなかった)
19. 悲しそう, 憂うつそうに聞こえる (悲しみ, 憂鬱を示す音声, 又は嘆き, ため息のような悲しげな音声. 但し, 怒り, 不安, 急激な痛みから来る音声は除く)
一週においてどのくらいの頻度で悲しみ, 憂鬱を示す音声を発したか.
- 0. 全く無い. .
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上)
 - x. この質問はあてはまらない. 話したり, 声を出したりしなかった.
20. 心配そう, 不安そうに見える (但し, 悲しそう, 憂うつそうにみえることは含まない).
一週においてどのくらいの頻度で心配, 緊張, 不安な様子に見えたか.
- 0. 全く無い.
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上)

- 21. 心配, 不安であるとの訴え** (あることが心配であると話す. 不幸だと言うのは含まない).
一週の中のどのくらいの頻度で, あることが気になったり不安になったりしていたか.
- 0. 全く無い.
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上)
 - x. この質問はあてはまらない. 話さなかった(又は伝えなかった).
- 22. 泣く** (声を出して泣く. 但し, 嘆いたり, ため息をついたり, 叫んだりすることは含まない)
- 0. 全く無い.
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (長時間という日が3日以上)
- 23. 将来に対する悲観** (将来は希望もなく耐えがたい, ものごとが上手くいかないなどと言う)
- 一週においてどのくらいの頻度で将来に対する悲観を示すようなことを言った (あるいは言葉以外で伝えた) か.
- 0. 全く無い.
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (1日に数回という日が3日以上)
 - x. この質問はあてはまらない. 話さなかった(又は伝えなかった).
- 24. 自己への関心**
- 一週においてどのくらいの頻度で, 困惑や悩みのために自分のすべきことに集中できないことがあるか.
- 0. 全く無い.
 - 1. ときどき.
 - 2. しばしば (1日に数回という日が3日以上)
- 25. 介助者に協力的か** (配膳, 入浴, 身だしなみ, 投薬に対する協力)
- 一週において他の人と接するとき,
- 0. いつも積極的に自分の介助に対して協力的 (可能なときは手伝ったり参加したりする)
 - 1. 時々自分の介助に協力する.
 - 2. 介助しようとするほとんどいつも抵抗する (協力を得るのはかなり難しい).

26. 要求や指示へ従うか

一週において介助者や家族の要求や指示のほとんどは：

- 0. 抵抗や憤慨することなく、いつも従った。
 - 1. 時々抵抗なく従った。
 - 2. 抵抗を示して、最終的には身体的に介助者が強引に行った。
- x. 理解不能であった。(簡単な指示でさえ理解できないほど精神的あるいは身体的に障害がある場合を含む)。

27. いらいら

一週においてどのくらいの頻度でいらいらしたり、かんしゃくを起こしたりしたか。

- 0. 全く無い。
 - 1. ときどき。
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上)

28. 欲求不満への反動 (自分の要求が通らなかつたり、ものごとを待たなければならない時に罵倒したり、すねたりする)。

一週において欲求不満のとき、どのくらいの頻度で怒り出したか。

- 0. 全く無い。
 - 1. ときどき。
 - 2. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上)

29. 介助者への暴言 (叫んだり、悪口を言ったり、罵ったり、脅したりすることを含む)

一週においてどのくらいの頻度で介助者や家族の人に暴言をはくか。

- 0. 全く無い。
 - 1. ときどき。
 - 2. 頻繁に。挑発されたわけでもなく、原因もなく。(少なくとも一日に一回という日が3日以上)
- x. この質問はあてはまらない。話したり、意味ある発話がなかった。

30. 他人への暴言 (叫んだり、悪口を言ったり、罵ったり、脅したりすることを含む)

一週においてどのくらいの頻度で他人に暴言をはくか。

- 0. 全く無い。
 - 1. ときどき。
 - 2. 頻繁に。挑発されたわけでもなく、原因もなく (少なくとも一日に一回という日が3日以上)。
- x. この質問はあてはまらない。話さなかった、あるいは、他人に近づかなかつた。

31. 他人への暴力 (介助者, 家族をぶったり, 突いたりする)

一週においてどのくらいの頻度で人をたたいたか

- 0. 全く無い.
- 1. 一度.
- 2. 一度以上. (人をたたかないように抑制帯で押さえつけておかねばならないような人を含む)
- x. この質問はあてはまらない. 身体的に人をたたくことができない

32. 他人との言い争い

一週においてどのくらいの頻度で他人と言い争いを始めたり, 引き起こしたりしたか.

- 0. 全く無し
- 1. ときどき
- 2. しばしば (2, 3回という日が3日以上)
- x. この質問はあてはまらない. 他人に近づかなかった.

33. 一人でいることを好む

一週において身体介助を受けていないときなど, むしろ一人にされていることを好んでいたか.

- 0. いいえ. 可能なときはいつも誰かと同席することを好んだ.
- 1. 時々, 一人にされていることを好んだ.
- 2. ほとんど, あるいは, いつも人と一緒にいることを嫌った.

34. 社会的な接触を持とうとする (自分から話しかけたり, 動作をしたり, 微笑んだりする. あるいは近づいたりする).

一週においてどのくらいの頻度か.

- 0. 頻繁に (一日に数回という日が3日以上)介護者と他の家族の人いずれにも社会的接触を働きかける.
- 1. 時々, 介護者か他の家族の人いずれにも社会的接触を働きかける.
- 2. 誰にも社会的接触を働きかけない.

35. 社会的な接触に受け答える (ただ指示にしたがうとか, 社会的接触に反応して人を見るだけの場合は 含まれない)

一週においてどのくらいの頻度で他の人がした社会的接触に受け答えたか.

- 0. ほとんどの場合, 接触をしようとした (例えば, 会話を続けたり, 人に接近)
- 1. 時々で少しの時間だけ.
- 2. 全く無し.

36. 他の人との友好

一週において

- 0. 一人以上の人と親密な友好関係をもった (これは本当の親友関係を示す).
- 1. 一人の親しい友達がいる, あるいは他人一人とカジュアルな親交がある.
- 2. 他人となんら友好関係をもたなかった.
- x. この質問はあてはまらない. 他人に近づかなかった.

37. 日々の出来事への関心 (例えば、身の周りで起きていることについて見る、聞く、反応する)

一週において何回くらい積極的に周囲で起きていることに注意を向けたか

- 0. しばしば (一日のほとんどという日が3日以上).
- 1. ときどき.
- 2. 全く無し.

38. 外での出来事への関心 (家族のこと、目の前にいない友達、ニュース、スポーツ等に関心を示す) .

一週において何回くらい外でのできごとに関心をもったようであったか.

- 0. 毎日
- 1. ときどき
- 2. なし

39. 自分の関心事を行う (例えば、積極的にテレビを見る、ラジオを聴く、趣味、絵を描く、読書、人とおしゃべりをする、散歩に行く. 全体で行うレクリエーションは含まない) .

一週において何回くらい自分の関心事を行ったか.

- 0. しばしば (一日のうちほとんどという日が3日以上)
- 1. 時々.
- 2. 全く無し.

40. 他の人を手助けする (他人への関心を示しているような手助けはどんなものでもよい. 例えば、身体的に手助けしたり,不快を除いてあげたり, 楽しませたりすることも含む).

一週において何回くらい他の人を助けて手助けしたか.

- 0. しばしば (一日に何度もという日が3日以上)
- 1. 時々.
- 2. 全く無し.
- x.. この質問はあてはまらない. 身体的に動くことができなかつたり (屋内で動くにも助けが必要) , ほとんどの日, 抑制されていた .

————— ご協力ありがとうございました —————

中高齡知的障害者実地調査 A (面接調査) —厚生科学研究今村班分担研究調査—

No.

--	--	--	--	--	--	--	--

調査日 平成14年10月____日

都道府県名_____施設名_____

A. 基本事項

(1) 療育手帳および身体障害者手帳の有無

- ①療育手帳 1. 有 (____度・発行(更新) _____年____月____日) 2. 無
 ②身体障害者手帳 1. 有 (____級・発行(更新) _____年____月____日) 2. 無

(2) 入所日(期間) _____年____月(____年____月) *現在の施設

B. 現 症

(1) 形態異常 1. 有 2. 無

(2) 眼 球

- ①斜 視 1. 有 2. 無
 ②瞳 孔 1. 正常 2. 異常
 ③対光反射 1. 正常 2. 異常
 ④眼球運動 1. 正常 2. 異常
 ⑤眼 振 1. 正常 2. 異常
 ⑥眼球突出 1. 有 2. 無

(3) 口唇、舌、口蓋、 1. 正常 2. 異常

(4) 言 語

- ①発 声 1. 有 2. 無
 ②有意言語 1. 有 2. 無 → 1. 単語文 2. 二語文以上
 ③構音障害 1. 有 2. 無
 ④吃 音 1. 有 2. 無
 ⑤反響言語 1. 有 2. 無
 ⑥その他 (_____)

(5) 甲状腺腫大 1. 有 2. 無

(6) 頸部、鎖骨下リンパ節触知 1. 有 2. 無

(7) 四肢の状態

- ①爪かみ、胼胝腫、擦過傷 1. 有 2. 無 皮 疹 1. 有 2. 無
②脈 拍 1. 徐 2. 普 3. 頻 結 滯 1. 有 2. 無
③末端の冷感 1. 有 2. 無
④運動障害（麻痺） 1. 有（上肢・下肢・左・右・痙性・弛緩性） 2. 無
⑤筋萎縮 1. 有（_____） 2. 無
⑥筋強剛 1. 有（_____） 2. 無
⑦関節拘縮 1. 有（_____） 2. 無
⑧振戦、不随意運動 1. 有 2. 無
⑨協調運動 1. 正常 2. 異常
⑩ロンベルグ現象 1. + 2. -
⑪深部膝反射 1. 正常 2. 異常
⑫病的反射 1. + 2. -

(8) 巣症状

- ①失 語 1. 有 2. 無
②失 認 1. 有 2. 無
③失 行 1. 有 2. 無

(9) 随伴精神症状 1. 有 2. 無

(10) 合併身体疾患 1. 有 2. 無

1. 高血圧 2. 糖尿病 3. 高脂血症 4. 高尿酸血症（痛風） 5. 脳血管障害
6. 甲状腺疾患 7. 呼吸器疾患 8. 心疾患 9. 胃腸疾患 10. 肝疾患 11. 腎疾患
12. 泌尿器疾患 13. 関節疾患 14. 耳鼻疾患 15. 白内障 16. その他の眼疾患
17. 悪性腫瘍 18. アレルギー疾患 19. その他

(11) てんかんの診断 1. 有 2. 無

- ①発作初発_____歳
②臨床発作型 _____
③現在の発作頻度 1. 有（_____回/日・週・月・年） 2. 無（最終発作_____歳）
④服 薬 1. 有（処方内容_____） 2. 無

C. 変化の状況

(1) 最近（この一年間）の健康状態

1. 元気でときに風邪を引く程度（売薬程度で医治なし）
2. やや病弱で、ときに医治
3. 定期的に診断を受け、服薬している
4. 入院中
5. 寝たり起きたりで、介助を受けている
6. 殆ど寝たきりである

①通院先及び受診頻度 _____

②処方 1. 有（処方内容 _____） 2. 無

(2) 5年前に比べて日常活動性に変化がありますか

1. ある→

1. やや衰えた いつ頃からどんところが (_____)
2. 非常に衰えた いつ頃からどんところが (_____)
2. 特に変わらない

(3) この5年間に記憶力になにか変化がありましたか

1. ある→

1. やや衰えた（いつ頃から _____）
2. 非常に衰えた（いつ頃から _____）
3. その他（ _____ ）
2. 特にない

(4) この5年間に感情面になにか変化がありましたか

1. ある→

1. いつ頃から (_____)
2. どのように (_____)
2. 特にない

(5) この5年間に意欲、行動面でなにか変化がありましたか

1. ある→

1. いつ頃から (_____)
2. どのように (_____)
2. 特にない

(6) この5年間に以下のような徴候が見られるようになりましたか

1. 睡眠障害 2. 昼夜逆転(睡眠リズム障害) 3. 妄想(物盗られ妄想、被害妄想)
4. 幻覚(幻聴、幻視) 5. せん妄 6. 徘徊 7. 自殺企図 8. 迷子 9. 失禁
10. 性的行動異常 11. 無断外出 12. 食事の異常(過食、異食) 13. 器物破損
14. 自傷 15. 他害 16. その他(_____)

1. ある→
- | |
|-----------------|
| 1. いつ頃から(_____) |
| 2. どのように(_____) |
2. 特にない

D. 診断

(1) 染色体診断 1. 有(_____) 2. 無

(2) 知的障害の程度 1. 軽度より軽い 2. 軽度 3. 中度 4. 重度 5. 最重度

(3) 知的障害の原因

01. 感染症又は中毒症に起因するもの(例:先天性風疹、妊娠中毒症、その他)
02. 外傷または物理的要因によるもの(例:出生時の機械的損傷による脳症、出生後損傷による脳症、その他)
03. 代謝または栄養障害を伴うもの(例:フェニールケトン尿症、クレチン症、栄養障害、その他)
04. 出生後に起こる粗大脳疾患によるもの(例:結節性硬化症、頭蓋内新生物、その他)
05. 不明の出生前要因によって起こる疾患に伴うもの(例:原発性小頭症、水頭症、マルファン症、その他)
06. 染色体異常を伴うもの→

61. ダウン症候群
62. その他の染色体異常(猫なき症候群、クラインフェルター症候群、その他)
08. 周生期疾患によるもの(例:未熟児)
09. その他
99. 不明

(4) 診断名 (_____)

中高齡知的障害者実地調査B－厚生科学研究今村班分担研究調査－

No.

--	--	--	--	--	--	--

調査日 平成14年10月____日

都道府県名_____施設名_____

A. 基本事項

(1) 療育手帳および身体障害者手帳の有無

①療育手帳 1. 有(____度・発行(更新)____年____月____日) 2. 無

②身体障害者手帳 1. 有(____級・発行(更新)____年____月____日) 2. 無

(2) 入所日(期間) _____年____月(____年____月) *現在の施設

B. 変化の状況

(1) 最近(この一年間)の健康状態

1. 元気でときに風邪を引く程度(売薬程度で医治なし)
2. やや病弱で、ときに医治
3. 定期的に診断を受け、服薬している
4. 入院中
5. 寝たり起きたりで、介助を受けている
6. 殆ど寝たきりである

①通院先及び受診頻度 _____

②処方 1. 有(処方内容_____) 2. 無

(2) 5年前に比べて日常活動性に変化がありますか

- | | | | | |
|--------|-------------|---------|---------|---------|
| 1. ある→ | 1. やや衰えた → | 1. 1年以内 | 2. 2年以内 | 3. 5年以内 |
| | 2. 非常に衰えた → | 1. 1年以内 | 2. 2年以内 | 3. 5年以内 |

2. 特に変わらない

(3) この5年間に記憶力になにか変化がありましたか

1. ある→
- | | | | | |
|-----------|---|---------|---------|---------|
| 1. やや衰えた | → | 1. 1年以内 | 2. 2年以内 | 3. 5年以内 |
| 2. 非常に衰えた | → | 1. 1年以内 | 2. 2年以内 | 3. 5年以内 |

2. 特にない

(変化の内容例)

物忘れ、おき忘れ、同じ話を何度もする、トンチンカン、朝・夕の取り違え、季節の取り違え、自室・トイレの間違い、人物誤認、その他

(4) この5年間に感情面になにか変化がありましたか

1. ある→ 1. 1年以内 2. 2年以内 3. 5年以内

2. 特にない

(変化の内容例)

ぼんやりしている、表情が乏しくなる、笑わなくなる、無関心になる、涙もろい、緊張しやすい、不安・抑うつ的になる、パニックになりやすい、多幸的、病的爽快、気分易変、イライラ、易怒、興奮、攻撃性、その他

(5) この5年間に意欲、行動面でなにか変化がありましたか

1. ある→ 1. 1年以内 2. 2年以内 3. 5年以内

2. 特にない

(変化の内容例)

小声、寡言、寡動、言語緩慢、閉居、無気力、易疲労、意思表示減少、依存性が増す、他者との係わり合い減少、他者への働きかけ減少、自傷行為減少、常同行為減少、固執傾向減少、多動・逸脱行為が増す、その他

(6) この5年間に以下のような徴候が見られるようになりましたか

徴候の内容

1. 睡眠障害 2. 昼夜逆転(睡眠リズム障害) 3. 妄想(物盗られ妄想、被害妄想)
4. 幻覚(幻聴、幻視) 5. せん妄 6. 徘徊 7. 自殺企図 8. 迷子 9. 失禁
10. 性的行動異常 11. 無断外出 12. 食事の異常(過食、異食) 13. 器物破損
14. 自傷 15. 他害 16. その他 ()

1. ある→ 1. 1年以内 2. 2年以内 3. 5年以内

2. 特にない

C. 日常生活行動

	1.(自立)	2.(ほぼ自立)	3.(一部介助)	4.(要介助)	5.(全介助)	9. 不明	
食 事	普通 特に配慮しない	箸が使える 食べ易くするなど配慮要す	箸は使えない、 しかしスプーン 等で食べられる 前項2と同様 配慮	スプーン等で食 べようとするが 殆ど全介助に近い	自分では食べ られない	不明	<input type="checkbox"/>
排 泄	普通 もらすこと がない	自分でトイレに 行くが、間に合 わず、もらすこ ともある	時々気がつか ないでもらすこ とがある	殆ど介助を要す るが、排泄の時 は少し介助に協 力する	全面介助	不明	<input type="checkbox"/>
入 浴	普通	浴槽の出入り、 洗い方等見守る 必要がある	自分で浴槽の出 入りはするが洗 うのを一部手伝 う	浴槽、浴室の出 入りにも介助を 要する	全面介助 清拭、機械浴 を含む	不明	<input type="checkbox"/>
着 衣	普通	遅いけれど、時 間をかければ自 分で着られる	ボタンかけ、パ ンドの使用等一 部手伝う	着衣の際介助に 応じて手を伸ば したり足を広げ たりする	全面介助	不明	<input type="checkbox"/>
移 動	普通 屋外に出ら れる	介助があれば、 電車の乗り降り 階段の昇り降り を含め歩ける	平坦な所なら、 ゆっくりだが歩 ける	杖や物につかま る等、介助があ れば歩ける	移動（歩行） 不能 （いざる等を含 む）	不明	<input type="checkbox"/>
聴 力 (補聴器 使用可)	普通	大体は聞こえて いるが、不完全 なこともある	耳元まで近づか なくても、少し 大きな声で話せ ば聞こえる	あまりよくは聞 こえない。耳元 で大きな声で話 せば聞こえる	全く、あるい は殆ど聞こえ ない	不明	<input type="checkbox"/>
視 力 (眼鏡 使用可)	普通	大体は見えるが 不完全なことも ある	新聞のやや大き な活字がやっと 見える（食事の 時、卓上の箸、 スプーンが見える）	手近にある大き な物は見分けら れる（顔の輪郭 がわかる程度）	全く、あるい は殆ど見えな い	不明	<input type="checkbox"/>
手先の 機能	普通	殆ど自立してい るが、複雑な操 作（果物の皮む きなどの際には 注意が必要）	負担の少ない重 さのものなら自 分で動かすこと ができる（何と か鉛筆が使える）	手を添えたり、 示唆を与えたり すればつかむこ とができる	自分ではつか んだり、つま んだりはでき ない	不明	<input type="checkbox"/>
言語の 明瞭度	普通	やや、はっきり しない	なんとか聞き取 れる	殆ど聞き取れ ない	言葉はない。 あるいは全く 聞き取れない	不明	<input type="checkbox"/>